

～第10回那覇市議会報告会～

市民と 議員で、ゆんたくさびら！

説 明 資 料

ページ番号

○ 議長挨拶	
○ プログラム	1
○ 班 名 簿	2

☆第1部「議会報告会」(19:00 ～19:30)

・ 平成28年度決算審査の報告	3
・ 総 務 常任委員会所管事務	8
・ 建 設 常任委員会所管事務	12
・ 教育福祉常任委員会所管事務	16
・ 厚生経済常任委員会所管事務	21

☆第2部「意見交換会」(19:30 ～ 20:30)

○ 意見交換	
--------	--

主催 那覇市議会

議 長 挨 拶

第 10 回那覇市議会報告会の開催にあたり、那覇市議会を代表し一言ご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、日頃から本市議会に関心を寄せられご協力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

議会報告会は、議会で行われた議案等の審議の経過と結果について市民の皆さまに報告をするとともに、市政全般に関する課題について意見交換を行うものであります。

平成 25 年 4 月の第 1 回開催から、第 9 回まで、計 951 人の市民の皆さまがご来場され、多様なご意見、ご要望を賜りました。このうち、特に重要なものについては、議長から市長へ報告し、実際の事業などへ反映させてまいりました。

議会では、市民に開かれた議会づくりのために、これからも市民の皆さまの多様な声をお聞きすることが重要だと考えております。

本日、「市民との意見交換会」を大きなテーマとし、市民の皆さまのご意見などを拝聴し意見交換をする中で、皆さまとご一緒に、これからの那覇市について考えていきたいと思います。

本日の議会報告会が、市民の皆さまのご参加により、議会改革に向けた実り多きものとなるものと大いにご期待申し上げ、開催にあたっての挨拶といたします。

那覇市議会議長

翁 長 俊 英

第10回那覇市議会報告会プログラム

☆第1部「議会報告会」(19:00 ~19:30)

所要	内 容
2分	開会あいさつ
5分	平成28年度決算審査の報告
20分	委員会審査結果報告
	・総 務 常任委員会 ・建 設 常任委員会 ・教育福祉常任委員会 ・厚生経済常任委員会

☆第2部「意見交換会」(19:30 ~ 20:30)

所要	内 容
58分	意見交換
2分	閉会あいさつ

★開催日時・地区・会場

日 時	地 区	担当班	会 場
11月20日(月) 19時~20時30分	本 庁	1 班	ほしぞら公民館
	真和志	3 班	沖縄大学
11月21日(火) 19時~20時30分	小 禄	2 班	JA小禄ホール
	首 里	4 班	首里支所

「第10回 議会報告会 班名簿」

1班

	班長	議 員 名	所 属 委 員 会	所 属 会 派
1		喜舎場盛三	総務	公明党
2		我如古一郎	総務(委員長)	日本共産党
3		大嶺亮二	総務	自民党
4		坂井浩二	建設	なはの翼f協働
5		仲松寛	建設	無所属
6	○	多和田栄子	教育福祉(委員長)	ニライ
7		當間安則	教育福祉	維新・無所属の会
8		宮平のり子	厚生経済	ニライ
9		上原安夫	厚生経済	日本共産党
10		大山孝夫	厚生経済	自民党

2 班

	班長	議 員 名	所 属 委 員 会	所 属 会 派
1		中村圭介	総務(副委員長)	無所属の会
2		清水磨男	総務	ニライ
3		上原快佐	建設(委員長)	ニライ
4	○	古堅茂治	建設	日本共産党
5		桑江豊	教育福祉	公明党
6		西中間久枝	教育福祉	日本共産党
7		奥間綾乃	教育福祉	無所属
8		奥間亮	厚生経済	自民党
9		上里直司	厚生経済	なはの翼f協働
10		翁長俊英	なし	無所属(議長)

3 班

	班長	議 員 名	所 属 委 員 会	所 属 会 派
1	○	下地敏男	総務	ニライ
2		宮里昇	総務	日本共産党
3		新崎進也	総務	維新・無所属の会
4		金城眞徳	建設	ニライ
5		系数昌洋	建設	公明党
6		吉嶺努	建設	自民党
7		栗國彰	教育福祉(副委員長)	自民党
8		上原仙子	教育福祉	なはの翼f協働
9		大城幼子	厚生経済(副委員長)	公明党
10		前田千尋	厚生経済	日本共産党

4 班

	班長	議 員 名	所 属 委 員 会	所 属 会 派
1	○	大浜安史	総務	公明党
2		新垣淑豊	総務	自民党
3		前泊美紀	建設(副委員長)	無所属の会
4		翁長雄治	建設	ニライ
5		久高友弘	建設	自民党
6		湧川朝涉	教育福祉	日本共産党
7		永山盛太郎	教育福祉	ニライ
8		平良識子	厚生経済(委員長)	ニライ
9		小波津潮	厚生経済	無所属
10		野原嘉孝	厚生経済	公明党

平成28年度一般会計および 特別会計の決算について

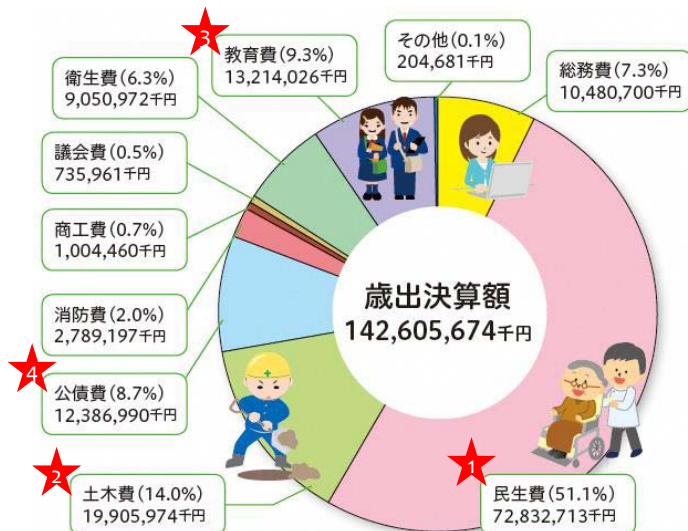
～ 那覇市議会9月定例会に付されてから決するまで ～

第10回議会報告会

◆平成28年度一般会計および特別会計の決算額

	一般会計	特別会計	総額
歳入決算額	147,667,913,359	79,020,783,208	226,688,696,567
歳出決算額	142,605,674,364	78,736,669,103	221,342,343,467
歳入歳出差引額	5,062,238,995	284,114,105	5,346,353,100
翌年度へ繰越すべき財源	2,339,771,944	54,758,000	2,394,529,944
実質収支額	2,722,467,051	229,356,105	2,951,823,156

◆一般会計歳出決算額の内訳



★1 民生費

児童・高齢者・障がい者などの支援や生活保護など社会福祉に関する経費

★2 土木費

各種公共施設の整備や維持管理に関する経費

★3 教育費

学校教育、社会教育などの教育行政に関する経費

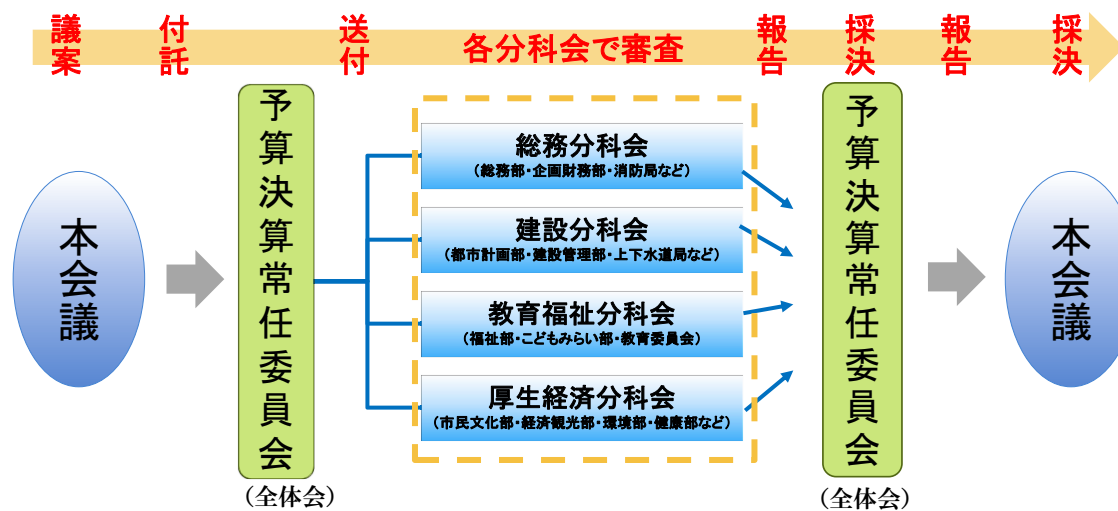
★4 公債費

国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金

◆特別会計の内訳

		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
特別会計内訳	土地区画整理事業	63,578,623	53,869,068	9,709,555	0	9,709,555
	国民健康保険事業	49,079,892,537	49,649,388,319	△ 569,495,782	0	△ 569,495,782
	市街地再開発事業	2,280,376,263	2,225,289,616	55,086,647	54,758,000	328,647
	介護保険事業	23,932,519,657	23,488,414,398	444,105,259	0	444,105,259
	後期高齢者医療	3,106,753,649	2,916,102,266	190,651,383	0	190,651,383
	病院事業債管理	298,911,476	298,911,476	0	0	0
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	258,751,003	104,693,960	154,057,043	0	154,057,043
	合 計	79,020,783,208	78,736,669,103	284,114,105	54,758,000	229,356,105

◆決算審査の流れ



予算決算常任委員会表決で賛否を表明

賛成・反対それぞれの意見

反対討論概要

1. 保育定員の拡大に留まらず、保育士の待遇改善や保育所の適正配置等、もっと予算をかけて取り組むべき。
2. こども医療費無償化の拡充について、多くの議員が提案しているにも関わらず、実現に至っていないなど様々な子育て支援の充実を手厚く図るべきであった。
3. 子どもの貧困対策の効果を精査するべき。
4. 消防職員の増員ができていない。
5. 第一牧志公設市場再整備事業や、新文化芸術発信拠点施設などの事業は、特に協働のまちづくりを実践しながら推進すべき。
6. 一括交付金について、未来を見据えた活用をすべき。

財源確保について、市長が全く政府や県と連携できていない点が最大の問題

予算決算常任委員会表決で賛否を表明

賛成・反対それぞれの意見

賛成討論概要

決算の認定とは、法律に適合しているか、その際の計算は正しかったか、執行方法や執行率等は適性か、等を審査するものであり、税金および予算の決定、その際の財源の審査については予算の審査である。

当初予算審議の際には、議会の中でも多くの議論や要望があった。その審議を経て一年かけて執行された歳入歳出決算において、大きく差異が認められたり、法律的に不適になるところがなかったことは明らかである。不認定にする理由は見当たらない。



予算決算常任委員会表決の結果

出席38人 賛成28 対 反対10



賛成多数により、平成28年度歳入歳出
決算は認定すべきものと決しました。

本会議での採決

予算決算常任委員長からの報告を受け、採決。

出席39人 賛成31 対 反対8

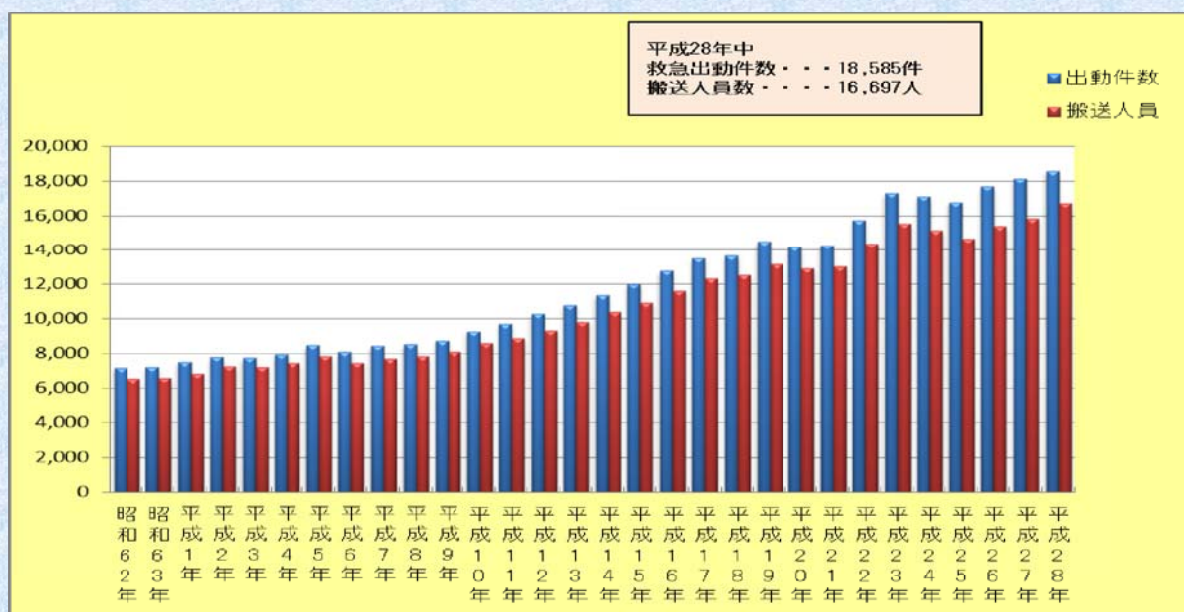


平成28年度歳入歳出決算は
賛成多数により認定されました。

～ご清聴ありがとうございました。～



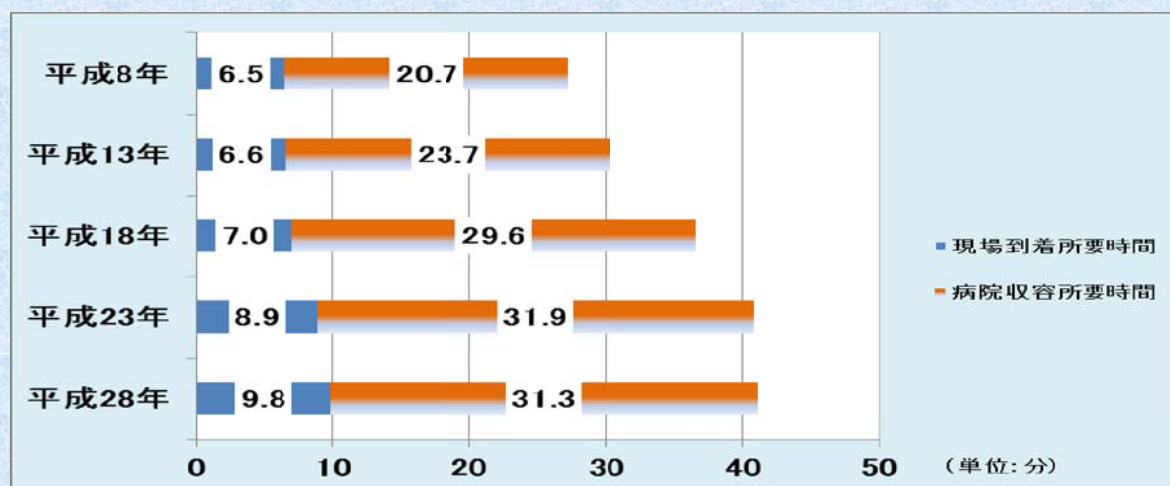
救急自動車による救急出動件数と搬送人員の推移



救急自動車による事故種別搬送人員数

事故種別	平成27年中		平成28年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	10,550	66.6	11,252	67.4	702	6.7
交通事故	1,166	7.4	1,143	6.8	-23	-2.0
一般負傷	2,441	15.4	2,463	14.8	22	0.9
加害	125	0.8	134	0.8	9	7.2
自損行為	206	1.3	193	1.2	-13	-6.3
労働災害	47	0.3	50	0.3	3	6.4
運動競技	46	0.3	78	0.5	32	69.6
火災	22	0.1	18	0.1	-4	-18.2
水難	7	0.0	11	0.1	4	57.1
自然災害	1	0.0	0	0.0	-1	-100.0
その他	1,225	7.7	1,355	8.1	130	10.6
合計	15,836	100.0	16,697	100.0	861	5.4

現場到着所要時間と病院収容所要時間の推移(5年ごとの推移)

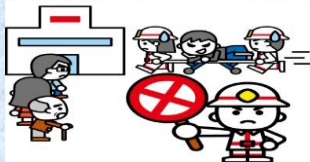


	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年	全国平均
現場到着所要時間	6.5	6.6	7.0	8.9	9.8	8.6
病院収容所要時間	20.7	23.7	29.6	31.9	31.3	39.4

★不適正利用と思われる実際の事例

- ・ 救急隊員を待たせて着替えをするもの
- ・ 自ら手をあげて救急車に乗り込んでくるもの
- ・ 家の前でタバコを吸いながら救急車を待つもの
- ・ かかりつけ医の診療時間が終了したので救急要請するもの
- ・ 病院の予約時間にあわせて救急要請するもの
- ・ 飲酒のため車を運転できないため救急要請するもの
- ・ タクシー代がもったいないと救急要請するもの
- ・ 優先的に見てもらえるとの理由から救急要請するもの

優先的に診てもらえる



夜間・休日の診療時間外だった



本当に必要か考えよう！

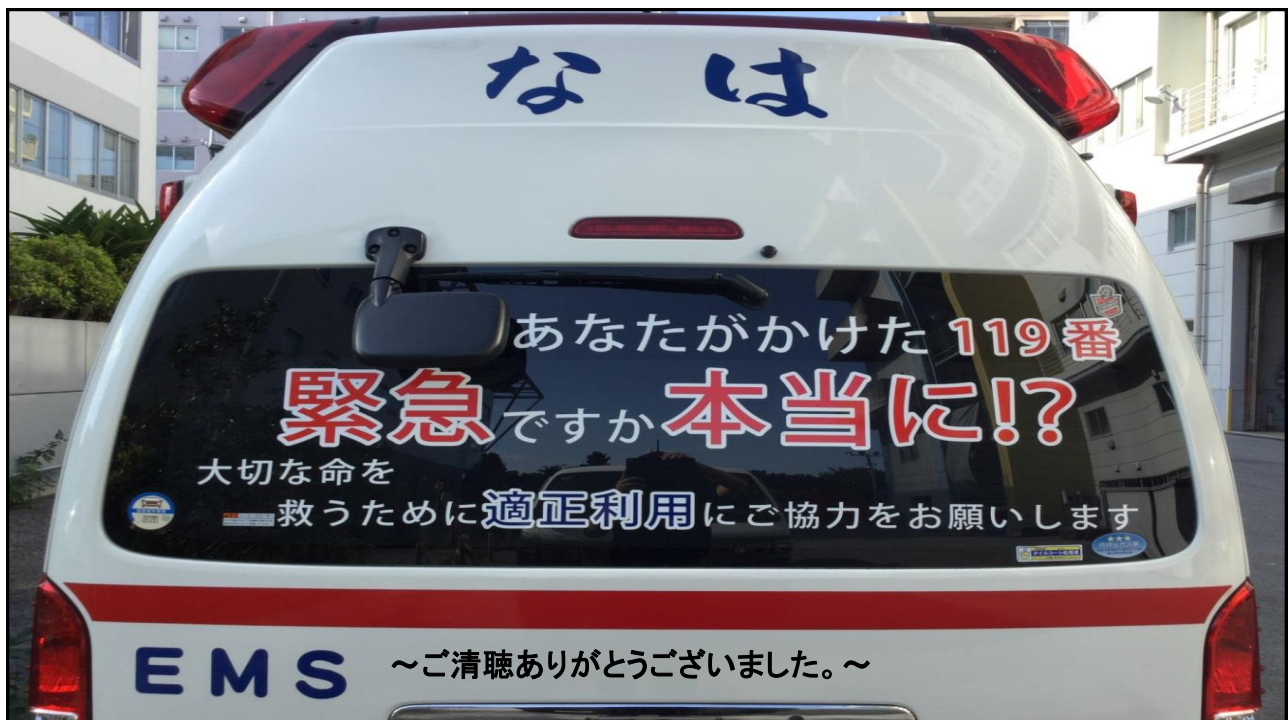
適正利用リーフレット ※リーフレットは別紙を参照ください



那覇市消防局認定患者等搬送事業者一覧

那覇市消防局では、救急車を利用するほど緊急性がない場合や自分一人や家族だけで病院に行けない患者等（寝たきり、車イス又はストレッチャーを必要とする傷病者）を、安心・安全にご利用頂くために一定要件を満たした民間の搬送事業者を患者等搬送事業者として認定しています。（HPより抜粋）

那覇市消防局認定 患者等搬送事業所	電話番号
介護タクシー ハッピー	090-8833-7591
介護タクシー ヒカリ	090-1368-6803
介護タクシー まきし	090-9787-0710
介護タクシー かりゆし	090-6423-4601
介護タクシー あすなろ	080-2690-1811
合同会社 アクバ	070-5411-6771



農連市場地区 防災街区整備事業

建設常任委員会

マチグワ文化を継承する にぎわい豊かな街

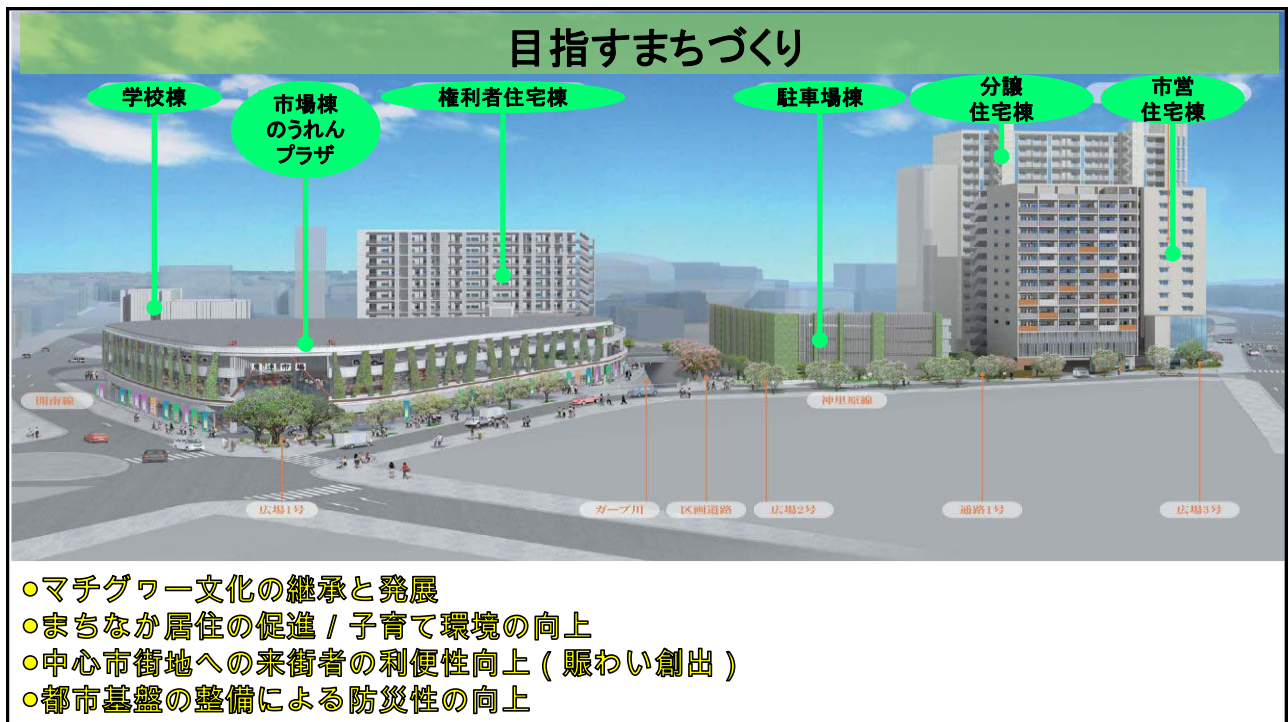
農連市場地区 防災街区整備事業



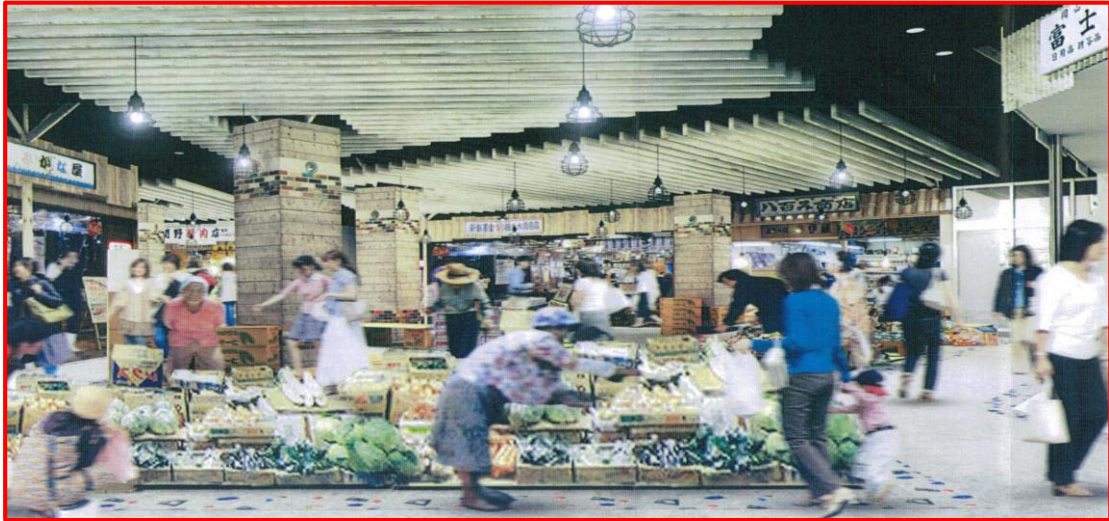
再開発前の農連市場



再開発後の農連市場



のうれんプラザ1F（小売店、相対売り）



のうれんプラザ2F（飲食店など）



マチグワ文化を継承する にぎわい豊かな街

市場棟のうれんプラザ

那覇市中心市街地における賑わい拠点の創出

「～人ともものが行き交うマチグワ空間の再生～」



平成32年度に事業完了予定

～ご清聴ありがとうございました。～

第10回議会報告会

教育福祉常任委員会

◎待機児童対策に関して

◎こども医療助成に制度に関して



那覇市の待機児童の現状

◎H28年度**全国ワースト3位**⇒H29年度**ワースト33位**
☆保育定員の増加数 全国**第2位**

◎平成29年4月現在の待機児童 : **200人**
(前年比 **65%** ・ **359人減**)
☆**0・1・2歳**で全体の**85%**を占める！

◎県内での比較：人数的には**4位** 人口比では**18位**

◎現在計画の中間見直しを実施中
☆定員の調整と新規設置により確保予定

那覇市の目指す待機児童0とは・・・ (教育・保育のありかたとは)

◎**保育を要する児童**

☆きょうだい児でも、育児休業明けでも、

年の中途でも、保護者が希望すれば、

希望する園にいつでもは入れる状況。

◎**保育を要さない（家庭保育）児童**

☆保護者が希望すれば、3歳児から、

幼児教育をうけることのできる状況。

待機児童解消への課題

◎**保育士の確保** (4月現在**54**人の保育士不足)

☆施設整備（ハード）的な面はクリアー

☆保育士の処遇改善が必要

- ・意外と給与面は改善傾向（国も注力中）
- ・今後は働きやすい環境の確保

◎**こまやかな定員調整**

☆持続可能な保育園経営のための定員調整

◎**3歳児、4歳児の家庭保育児童対策**

☆貧困対策や学力向上など3、4歳児の受け皿

こども医療費助成制度について

那覇市では、こどもの健やかな育成に寄与することを目的とし、こども医療費の一部を助成することにより、保健の向上を図る「こども医療費助成事業」を実施しております。

こども医療費助成事業の現状

◎現行制度		対 象		一部自己負担金	
所得区分	給付方法	入 院	通 院	入 院	通 院
な し	自動償還	中学生以下	0～6歳	な し	0～2歳 な し 3～6歳は、1医療機関につき1,000/月

- ◎これまで那覇市では、沖縄県の助成金を活用しながら、助成対象年齢や申請方法等について、順次、制度の拡充を図ってまいりました。
- ◎一方、県外の多くの自治体では、窓口での支払いを必要としない現物給付方式による助成が行われるなど、こども医療費の無料化を図る取組みが行われています。

今後のこども医療費助成制度について

◎平成30年度より、医療費助成に関する、国の新しい方針が示されました。

これにともない、那覇市は沖縄県に要望案を提出しながら、新しい医療費助成制度に合わせ、システム改修等の準備を進めているところであります。

沖縄県提示案と那覇市案のちがい

◎沖縄県の見直し案（4月提示）					
所得区分	給付方法	対 象		一部自己負担金	
		入 院	通 院	入 院	通 院
低所得世帯	現物給付	現物給付	中学生以下	な し	な し
中間世帯	自動償還	自動償還	0～6歳	1日 1,000円	1診療 1,000円
高所得世帯		対象外とする			

◎現行制度との大きな違いは、所得区分を導入し、低所得世帯には手厚く、中間世帯は助成額がこれまでの半分ほどになり、高所得世帯は対象外。

◎那覇市が要望している案（7月提出）					
所得区分	給付方法	対 象		一部自己負担金	
		入 院	通 院	入 院	通 院
な し	現物給付	0～6歳	0～6歳	な し	な し
	自動償還	小・中学生			

◎医療機関の受診の多い年齢層（就学前のこどもたち）の「**医療費無料化**」が可能となる。

◎那覇市負担額が**5億円を超える**見込み。

教育福祉常任委員会で、ほかにも学校教育、
福祉行政等様々な所管があります。

これからも、市民の皆様が安心して楽しいくらしが
できるよう調査・研究を進めてまいります。



～ご清聴ありがとうございました。～

新文化芸術発信拠点施設 (新市民会館) 整備事業について

厚生経済常任委員会

新市民会館建設候補地の決定までの主な経緯

- H23年10月 那覇市立学校適正配置計画(統合・分離)決定
- H23年12月 新市民会館を久茂地小学校跡地へ建設する市長私案発表
- H24年12月 「那覇市立学校設置条例の一部を改正する条例」議会可決成立
→H26年4月に統合新校の開校が正式決定
- H25年4～5月 真和志自治会長連絡協議会評議員会、真和志地区全自治会長、
美栄橋商店街との意見交換会
- H25年5月 那覇市文化行政審議会より基本構想についての答申
- H25年6月21日 臨時庁議で、建設候補地の3案を付議・審議
- H25年6～7月 新市民会館建設候補地(案)に対する市民意見募集実施
- H25年8月22日 「新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)建設候補地」決定

新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）整備事業の経緯

- ・ H25年8月「新文化芸術発信拠点施設基本構想」策定
- ・ H26年10月「新文化芸術発信拠点施設基本計画」策定
- ・ H28年3月 設計者選定プロポーザル公開プレゼンテーションで設計者を選定
- ・ H29年3月 基本設計完了（香山・久米・根路銘設計共同体）
- ・ 基本設計シンポジウム2回開催（来場者：約200名、約100名）
- ・ 市民ワークショップ及びヒアリング等を実施
 - ＊公募市民(6回)、周辺地域住民等(2回)、文化芸術団体等
- ・ 身障者団体等、舞台技術者等
- ・ H29年11月 市内4地区においてシンポジウム及び事業説明会を開催

新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）の特徴

○**キャッチフレーズ**：感動を共有する文化の薫り高い芸術創造発展拠点

○**基本方針**：地域文化を創造・発信する、優れた文化芸術に触れる。育て・交流する

○**建設場所**：中心市街地活性化、モノレールやバス等の公共交通の利用促進、市全域を俯瞰した公共施設のバランス等を踏まえて決定



建物概要



- 階数：地上6階、地下1階
- 大ホール1～3F：計1601席
- 小ホール1F～2F：計306席
- 練習室6室
- 駐車場60台

今後の事業スケジュール

- ・平成29年度：実施設計、校舎等解体工事、用地取得
- ・平成30年度～32年度：建設工事、用地取得
- ・平成33年度：新文化芸術発信拠点施設 開館

※用地取得拡大の説明

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
基本構想策定	基本計画策定	周辺環境整備計画	基本設計		実施設計	建設工事		開館準備	開館

費用について

- これまでかかった予算

H24～H29年度までの予算：約10億9千万円

(沖縄振興特別推進交付金：約8億2千万円、地方債：約1億6千万円、一般財源：約1億1千万円)

- 今後かかる予算

H30～H32年度までの予算：約127億9千万円

(沖縄振興特別推進交付金：約99億円、地方債：約24億円、一般財源：約4億9千万円)

→総事業費（概算）：約138億8千万円

- 主なもの 建設費：約108億円、敷地拡大費：約11億7千万円

交通について（一銀線の現状と今後の整備方針）

- 都市計画マスタープラン：一銀線の交通円滑化、良好な歩行空間の形成

- (1) 車線数の検討→2車線で対応可能(道路構造令)
- (2) 歩道幅員の検討→現況3mから4.5mへ拡幅(道路構造令の規定)
- (3) 道路改良案→現況13mから18mへ拡幅
- (4) 改良範囲→松尾交差点から久茂地橋交差点までの区間(340m)
- (5) 久茂地橋の通行方法→信号処理方法を交差点集約する予定



9月議会で補正予算計上にかかる委員会審議について

- 文化振興課より、都市計画の用途地域変更に伴う土地再鑑定評価業務と物件補償単価入替業務を行うため、678万7千円の増額補正予算が計上。
→敷地拡大部分全17件のうち、H27年度とH28年度で評価を終えた11件について
- 土地鑑定評価業務に約4週間、物件補償単価入替業務に約2カ月間を予定。
全体スケジュールに大きな影響はない。

9月定例会増額補正についての結論

- 予算決算常任委員会で、議案第69号H29年度一般会計補正予算(第2号)中、新文化芸術発信拠点施設整備事業増額補正部分に、修正案が提出される。
→(678万7千円を減額し、予備費を増額する内容)
- **結論：修正案が、予算決算常任委員会・最終本会議にて、賛成多数で可決。**

～ご清聴ありがとうございました～